

令和元年 11 月 6 日
消費・安全局 食品安全政策課

「鶏肉の生産衛生管理ハンドブック」に掲載された対策の優良取組事例の収集

1. 目的

肉用鶏農場への食中毒菌の侵入・まん延防止を目的とした「鶏肉の生産衛生管理ハンドブック」（以下「鶏肉 HB」という。）に掲載されている対策に積極的に取り組んでいる生産加工事業者の優良取組事例を、食鳥業界の関係者の方々に向けて紹介し、自らの農場で食中毒菌低減に取り組む際の参考にしていただく。併せて、現在進めている農場での衛生対策の効果検証及び鶏肉 HB の改訂の参考とする。

2. 優良取組事例の収集対象

文献報告や過去にご協力いただいた農林水産省調査等により、鶏群のカンピロバクター保有率が低く保たれている（または低減した）ことが明らかな生産加工事業者にご協力をお願い。

内容としては、以下とともに、食中毒菌の低減に取り組んだきっかけや取組に際しての事業者・農場間のコミュニケーション事例を紹介予定。

- 飲用水管理の徹底事例

生産加工事業者 A は、他社複数社の農場が混在する地域にありながらも、鶏群のカンピロバクター汚染率を低く保っている。衛生対策のうち、特に飲用水の管理に重点を置いており、その管理方法についての事例を紹介。

- 家畜保健衛生所とともに食中毒菌の低減に尽力した先進的事例

生産加工事業者 B は、所管の家畜保健衛生所とともにカンピロバクター及びサルモネラを対象とした取組を開始。バイオセキュリティ改善のため、複数の衛生対策を実施し、カンピロバクターの陽性率を低下させた。

3. 成果物

収集事例は「鶏肉 HB の優良取組事例集 ～肉用鶏農場への食中毒菌の侵入・まん延を防ぐために～（仮）」として取りまとめ、令和元年度末までに公表。

鶏肉 HB とあわせて、衛生対策を普及するためのツールとして活用。

4. スケジュール

令和元年 6 月	コンセプトについて関係者に意見照会
令和元年 8～10 月	優良取組事例の収集対象事業者における現地調査
令和元年 11 月	事例集案作成
～令和 2 年 2 月	事例集案について関係者に意見照会
～令和 2 年 3 月	事例集を農水省ウェブサイト公表 (令和 2 年 4 月以降、事例集の印刷物を配布)